

科目（講座名）	現代文B	3単位	学校必修
教科書	精選現代文B（大修館書店）		
副教材	現代文マーク完答（尚文出版） 現代文単語（桐原書店） 大学入試漢字TOP2000（いづな書店） 新国語便覧（第一学習社）		

### 学習の目標

一、二年次の学習内容を踏まえ、より高度な現代文の学力を養う。特に評論文については幅広いテーマの作品を扱い、現代社会の様々な問題点に目を向け、社会に対する認識を深めるとともに、論理的な思考力を身に付ける。また、文章の要約などの作業を通じ、言語による論理的な表現力を高める。あわせて、基礎となる語句や漢字、文学史を学び、大学入試に対応できる総合的な学力を身に付ける。

### 授業内容

- ・現代評論の読解を教材の中心におき、論理的な分析・読解を行い、その内容を整理する要約を通して、論理的な読解力・表現力を身に付ける。
- ・小説においては、近現代の時代背景に注目し、その心情の理解を通じて、現代の社会の問題に関連づけて考える。また、一年次から鑑賞・実作を並行して行い高めてきた表現力を、記述を通じて生かす。
- ・評論・小説ともに教師からの一方的な講義形式にならないよう、グループ学習を取り入れ、生徒相互の交流による思考の時間を確保する。
- ・漢字・語句の学習は小テストの形で定期的実施する。
- ・以上に加えて、特進クラスでは問題演習の時間を確保し、一般入試にむけた学力を養成する。

### 学習方法

- ・予習の段階で本文をじっくり読み、語句の意味調べなどをしておくとともに、自分なりに内容をまとめてみる。
- ・集中して文章の読解に取り組み、現代評論などの論理的な文章の構造や主題、小説に描かれた状況や心情を把握する。
- ・グループ作業を導入する際には、自身の意見を自身の言葉で述べるようにする。
- ・ノートを必ず用意し、読解した内容を自分の言葉で整理する。

### 評価の観点

関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで表現したり、理解したりしようとしたか。
話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手やその場の目的に応じ、筋道立てて話すことができたか。また、的確に聞き取ることができたか。
書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手やその場の目的に応じ、筋道立てて適切に文章として書くことができたか。
読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ることができたか。
知識・理解	実生活に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、その知識を身に付けられたか。

評価方法

定期考査、提出物、小テスト、出席状況、グループ学習への参加意欲、授業中の学習態度などをもとに総合的に判断し、評価を行う。年度末には、一年間の上記の内容について総合的に判断し、評価を行う。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7		評論  小説  随想 評論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ</li> <li>・美神 (中間考査)</li> <li>・浄瑠璃寺の春</li> <li>・政治を支える心構え  (期末考査)</li> </ul>	<p>評論： 文章を読んで構成・展開・用紙などを的確にとらえ、その論理性を評価する。</p> <p>小説： 日本文学の豊かさを味わい、書き手の意図や人物・情景・心情の描写を的確にとらえる。</p> <p>評論/随想： 抽象的・概念的な用語や表現を理解し、具体的な現実との対応を考えるとともに、情景描写に込められた筆者の心情をくみ取りながら読み進める能力を身につける。</p>
2	9 10 11 12		評論  小説  小説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猫は後悔するか</li> <li>・檸檬 (中間考査)</li> <li>・舞姫  (期末考査)</li> </ul>	<p>評論： 一学期に習得した評論読解の方法論をより高度のものとし、さまざまな現代社会の問題に触れ、認識を深める。あわせて、大学入試に対応する学力を身につける。</p> <p>小説： 近代の古典的な作品を読み、登場人物の心情を的確にとらえ、時代と人間関係についての関心を深める。また、表現上の特色や語彙を自分の表現に役立てる。</p>
3	1		評論	問題演習	<p>評論： 入試に対応する読解力養成の仕上げを行う。</p>

科目（講座名）	現代社会	2単位	必修
教科書	改訂版 現代社会（数研出版）		
副教材	最新現代社会資料集（第一学習社）		

### 学習の目標

人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせ、良識ある公民として必要な能力と態度を育てることを目標とする。

### 授業内容

現代社会の基本的な問題についての学習をとおして、現代社会に対する関心を高め、現代社会の基本的な問題について主体的に考える力の基礎を養う。

### 学習方法

ICT 機器を利用した一斉授業形式をとる。  
ディスカッションの実施や小レポートの提出等の表現活動を行う。

### 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会の課題について関心を持ち、意欲的な取り組み態度が見られる。
思考・判断	現代社会の問題点を多面的に思考し、多角的な判断ができる。
技能・表現	有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けている。
知識・理解	現代社会の課題について基礎的な知識を身につけ、理解を深めている。

### 評価方法

上記の観点について、年間の成績を総合的に判断して評価する。

## 年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	14  12	現代の民主政治 日本国憲法と基本的人権の保障  政治機構と国民生活	近代民主主義の原理  日本国憲法の成立とその原理 基本的人権の保障  人権の保障と裁判所  議会制民主主義  地方自治  現代の国際政治	人権保障の充実・発展が民主政治の究極の目標であることについての認識を深めさせる。 人権が法によって守られていることを取り上げ、国家権力と人権保障との関係について考えさせる。 裁判所が人権保障と法の支配を確保するために存在することを理解させる。 わが国では基本的に国会を中心としつつ様々な国民参政の方法を通じて国民主権が実現される仕組みになっていることを理解させる。 国際社会、国際法の意義を理解させ、国連の役割と課題を考えさせる。戦後の国際政治の動向を概観し、現代の地域紛争・人権問題・軍縮問題を理解させる。
2	9 10 11 12	15  13	現代の経済社会と経済活動  国際経済の問題と日本の役割	市場経済のしくみ  経済成長と景気変動  金融機関のしくみ  財政の現状と今後の課題  国際経済のしくみ  国際経済の枠組み	市場は価格メカニズムに基づいて自動的に調整する機能を持っていることを理解させる。 現代の経済社会において金融が果たしている役割について理解させる。公的部門が資源配分の調整、所得再分配、経済の安定化を図る役割があることを理解させる。 国際的な相互依存関係の緊密化がもたらす社会の急激な変化とその影響について理解させる。 貿易の不均衡や農業、金融など様々な経済分野の問題が外交上の問題となり経済摩擦が生じていることについて理解させる。
3	1	16	青年期の意義と課題  現代社会の課題	青年期と自己の形成  地球環境問題 資源エネルギー問題 科学技術と生命倫理 ゆたかな社会と福祉	現代社会の多様な問題を理解せるとともに青年としての自己との関わりを考えさせる。  豊かさをめざしたエネルギー消費の拡大が地球温暖化や環境破壊を引き起こしたことを理解させる。 高度な医療技術が寿命を伸ばすとともに生命倫理の上で、尊厳死や患者の自己決定権をめぐる問題を生じさせていることを理解させる。



-科目（講座名）	体 育	3 単位	必履修
教科書	現代保健体育（大修館書店）		
副教材	図説最新高等保健（大修館書店）		

### 学習の目標

- ① スポーツを通して、心身発達をうながし生涯を通して運動を実践する態度や習慣を身に付ける。
- ② 自らが運動の必要性を理解し、計画・実施ができることを意識し、グループ学習させる。
- ③ チーム作りを通して、話し合いの中で円滑な仲間との関係を作る。

### 授業内容

- A群 ソフトボール・バスケットボール・フットサル・水泳  
 B群 ソフトボール・バレーボール・サッカー  
 C群 ランニング&スイミング&トレーニング・卓球・バドミントン・テニス・ハンドボール  
 ・サッカー・ソフトボールから選択  
 ※天候・施設の関係上、種目を変更する場合もある。

### 学習方法

- ② 自が自分自身の健康を意識し、運動を処方し、実践できることを意図する。
- ② グループ学習において、個人の技術から集団技術への展開を意識し計画的に活動できるようにする。チーム作りにおいて、集団の一員としての自覚を持ち、協力し、ゲームにおいて戦略・戦術を考え、作戦をたて、チームを作り上げていく。

### 評価の観点

関心・意欲・態度	各種目の特性を理解し、互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとする。勝敗に対して公正な態度がとれる。
思考・判断	自己の能力に応じた目標や課題を設定し、効果的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる。
技能	チームや個々の能力に応じた課題の練習や、ゲームを通して、集団的・個人的技能を高めることができる。
知識・理解	各種目の特性や学習の進め方、練習や競技の仕方を理解している。競技の運営やルール・審判法を理解している。

### 評価方法

各学期、各担当が実技点100点、出席点100点 計400点満点で5段階評価する。学年では1200点満点で5段階評価する。なお、授業参加状況、授業態度も評価の対象になる。学年末は年間の成績を総合的に判断し評価する。

## 年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	39	A) 男子 ソフトボール 女子 バスケットボール 水泳	基礎技術の習得と基礎 体力の向上を目指す。 4泳法 個人メドレー	各種目の特性を理解し、お互いに協力しながら活動させる。 自己の記録の向上への意欲を持たせる。 自己の能力やチームの特性に応じた課題を設定し、ゲームを通して個人的・集団的の技能を高めていく。
	5		B) 男子 バレーボール 女子 ソフトボール	グループ学習において、ゲームを意識し、計画的に協力しながら戦術・戦略を考えていく。	
	6		C) バレーボール 硬式テニス バドミントン サッカー ランニング&スイ ミング&トレー ニング 卓球	作戦を立て、全員が協力してゲームを進められるようにする。	
2	9	42	A) 男子 バスケットボール 女子 フットサル 水泳	基礎技術の習得と基礎 体力の向上を目指す。 4泳法 個人メドレー	各種目の特性を理解し、お互いに協力しながら活動させる。 自己の記録の向上への意欲を持たせる。 自己の能力やチームの特性に応じた課題を設定し、ゲームを通して個人的・集団的の技能を高めていく。
	10		B) 男子 サッカー 女子 バレーボール	グループ学習において、ゲームを意識し、計画的に協力しながら戦術・戦略を考えていく。	
	11		C) ハンドボール 硬式テニス サッカー ランニング&ス イミング&トレ ーニング 卓球	作戦を立て、全員が協力してゲームを進められるようにする。	
3	1	12	A) 男子 バスケットボール 女子 フットサル	基礎技術の習得と基礎 体力の向上を目指す。	各種目の特性を理解し、お互いに協力しながら活動させる。 自己の能力やチームの特性に応じた課題を設定し、ゲームを通して個人的・集団的の技能を高めていく。
			B) 男子 サッカー 女子 バレーボール	グループ学習において、ゲームを意識し、計画的に協力しながら戦術・戦略を考えていく。	
			C) ハンドボール 硬式テニス サッカー ランニング&ス イミング&トレ ーニング 卓球	作戦を立て、全員が協力してゲームを進められるようにする。	

科目（講座名）	コミュニケーション英語Ⅲ	3単位	学校必修
教科書	New Flag English Communication Ⅲ（増進堂）	担当教諭	
副教材	New Flag English Communication Ⅲ Workbook（増進堂）		

学習の目標

1. C英Ⅱより更に難易度を増した物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。また、聞き手に伝わるように音読することができる。
2. C英Ⅱより更に難易度を増した英語の事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えることができる。
3. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書いたり、話し合ったり、意見の交換をすることができる。
4. 英語を通して英米文化に触れ、理解を深めることができる。

授業内容

1. まとまりのある文章を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりする。
2. まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを理解し、それについて自分の考えなどをまとめたり、伝えたりする。
3. 物語文などを読んで、その感想を話したり、書いたりする。
4. 文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読する。

学習方法

- ・ 予習してあることが前提の授業である。
- ・ 予習においては、新出単語の意味、教科書本文の意味など、辞書を適切に活用して、理解に努め、音読ができるようにする。
- ・ 課題をしっかりとやり、期日に提出する。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習復習をきちんとした上で授業にのぞんでいる。</li> <li>・ 課題をしっかりとやり、期日に提出できる。</li> <li>・ 間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語らしい発音で発話することができる。</li> <li>・ 教科書の内容に基づいて、情報や考えなどについて、書いたり話したりできる。</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師やパートナーの言ったことを、正しく聞き取れる。</li> <li>・ 定期考査・小テスト等に前向きに取り組み、良い成績をあげることができる。</li> </ul>
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書に書かれた内容を通して、英米文化に触れ、理解を深められる。</li> <li>・ 外国人講師の授業を通して、他国の文化や習慣への関心を高められる。</li> </ul>

評価方法

中間・期末考査の成績、授業へ取り組む姿勢、課題の提出状況、出席状況などをもとに総合的に評価する。なお、年間の評価は、1学期・2学期・3学期の成績から総合的に判断する。（いずれも、絶対・相対を加味した5段階評価）

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	9	Chapter 1	Steve and Ryoma (日常)	推測して読む 逆接・対比の表現に注意する
	5	12	Chapter 2	Uluru, Not Ayers Rock (自然)	代名詞の言い換えに注意する 例示・列挙・新情報の追加
			Chapter 3	Community Design (社会)	逆接・対比の表現に注意する 必要な情報をつかむ
	6	6	Chapter 4	The Life of Murasaki Shikibu (文化)	代名詞の言い換えに注意する 例示・列挙・新情報の追加
			Chapter 5	Microfinance (産業)	時間・順序を表す言葉に注意する 原因・理由・結果の表現に注意する
	7	2	Chapter 6	The Plain People (文化)	推測して読む 原因・理由・結果の表現に注意する
2	9	11	Chapter 7	The Air Powered Car (科学)	代名詞の言い換えに注意する 逆接・対比の表現に注意する
			Chapter 8	Are Children the Best Learners? (文化)	時間・順序を表す言葉に注意する 言い換え表現・要約・結論表現に注意する
	10	10	Chapter 9	Printing the Future (科学)	例示・列挙・新情報の追加 逆接・対比の表現に注意する
			Chapter 10	Seed Balls (自然)	パラグラフ構成を意識して読む 時間・順序を表す言葉に注意する
	11	9	Chapter 11	Creativity (日常)	逆接・対比の表現に注意する 言い換え表現・要約・結論表現に注意する
			Chapter 12	Spark Joy (日常)	パラグラフ構成を意識して読む 必要な情報をつかむ
12	9	Chapter 13	Mutual Understanding of Different Cultures (文化)	意味のまとまりで読む 時間・順序を表す言葉に注意する	
3	1	2		大学入試問題演習	英語を正しく読む力を養成する 大学入試に備える

科目（講座名）	英語表現Ⅱ（特進・総合）	2単位	学校必履修
教科書	Be English Expression Ⅱ（いづな書店）	担当教諭	
副教材	Workbook for practice(chart institute) New Frame650(桐原書店) Scramble 英文法(旺文社)		

学習の目標

1. 英語の基本的な言語構造を総括的に理解できる。
2. 英語の基本的な表現を、聞いて理解する。
3. 英語の基本的な表現を用いて、表現したいことを伝えられる。
4. 情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばす。

授業内容

「Be English Expression Ⅱ」をテキストとして、パラグラフライティングで英作文の応用力を身につける。  
1学期は「Workbook for practice」を使い、文法のテーマ毎に基本文法の総ざらいをする。  
2学期は New Frame650 を使い、文法のテーマ毎に入試問題演習をする。  
Scramble は自学自習を中心として、復習を行う。

学習方法

予習を中心として、授業では解説を行う。1, 2年時と同様に各レッスンで暗唱文を設定し暗唱させる。

評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習を含めて、授業によく取り組んでいる。</li> <li>・ 課題をしっかりとやり、期日に提出できる。</li> <li>・ 間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与えられた状況において、適切に話し、伝えることができる。</li> <li>・ 自分のことや与えられた課題について、文章を書くことができる。</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の言ったことを、正しく聞き取れる。</li> <li>・ 英文を聞き、正しい解答を選べる。</li> </ul>
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し、知識として定着できている。</li> <li>・ 当該単元だけに限らず、英語の言語構造を、総合的に関連づけて、把握理解できる。</li> <li>・ 外国人講師の授業を通して、他国の文化や習慣への関心を高められる。</li> </ul>

評価方法

中間・期末考査の成績、小テスト、授業へ取り組む姿勢、課題の提出状況、出席状況などをもとに総合的に評価する。なお、年間の評価は、1学期・2学期・3学期の成績から総合的に判断する。（いずれも、絶対・相対を加味した5段階評価）

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習活動とその留意点
1	4	6	Lesson 21	<i>Be English Expression II</i> 日本語とは違う表現方法	日本語にはない無生物主語や名詞構文を理解させる  中学校での基本的な文法事項から高校までの文法事項まで文法別に分かり易く授業を行う。
			Lesson1,2 Lesson3,4 Lesson5,6		
	5	7	Lesson7,8 Lesson9,10	文法) Workbook for practice 時制、助動詞、態、不定詞、分詞、動名詞、動詞、形容詞、比較、疑問と否定	
			Lesson11,12 Lesson13,14	関係詞、接続詞、仮定法、前置詞、名詞、代名詞、倒置、熟語	
6	7	Lesson15,16 Lesson17,18 Lesson19,20			
		7	6	復習	
2	9	6	Step1,2 Step3,4 Step5,6	時制、態 助動詞、不定詞と動名詞 不定詞、動名詞	1学期の文法事項を踏まえて、文法毎に入試問題を解く。できないところは復習する。
	10	8	Step7,8 Step9,10	分詞、動詞の語法 熟語、仮定法	
			Step11,12	比較、代名詞	
	11	8	Step13,14 Step15,16	形容詞、副詞の語法 会話①、関係詞	
12	6	Step17,18 Step19,20	接続詞、疑問と否定 名詞と冠詞、熟語		
3	1	2	Step21,22,23	前置詞、会話等 入試問題	入試問題を時間内にやり、答え合わせ。 自分の到達度を確認する。

## 総合的な学習の時間

科目（講座名）	総合的な学習の時間（3年生）	1単位	必修
副教材	ベネッセ 進路探求ワーク2		
担当教諭	3学年担任、進路指導部		

### 学習の目標

キャリア教育の一環として生徒に将来への展望を持たせる。2学年で学んだ部分を基礎として10年後、20年後の自分を想定させて生きる力を育成する。

### 授業内容

進路ノートを中心にカリキュラムを組み、自己を見つめ、特性を把握し、何をやりたいのかを認識させるために自己分析から始める。就職状況の厳しさを伝え、今の取り組みが将来を方向つけることを理解させる。「講話、解説からクラスへ」といった流れを作り、全体で与えた刺激をクラスで自らの問題としてとらえさせ、進路ノートにそって考えさせる。目先の進路だけではなくキャリア教育として将来にわたって展望を持ち、努力できるような学年、進路が連携したサポート体制をもとに3年間を通じて成長を促せるよう働きかける。進路が見えた中で行うキャリア教育として個々に応じた指導に比重を移す。また、進路決定後も、生きる力を高めるために社会人等の外部からの刺激も活用して成長につなげたい。

### 学習方法

進路指導部を中心に外部講師なども利用し、将来設計と目標実現、そして、将来の困難に直面した際に乗り越えていくだけの力を育成していく。座学だけでなく行事も利用し、すべての活動がキャリア教育との認識を持って全学的に導いていく。また、都の自立支援プログラムを活用し、様々な方向からアプローチし、バランスのとれたキャリア教育を行う。平行して個々への面談等によって細かな指導を心がける。

### 評価方法

自己の進路を妥協することなく選択し邁進する姿勢を担任団、進路部、管理職の多方面から客観的に観察し、評価していく。

## 総合的な学習の時間

### 年間計画

学期	月	配当時間	活動項目	活動内容	評価計画	
1	4	8	1、進路オリエンテーション	1、年間を通じての進路活動への心構えを確認する。	真剣に自分谷仲間の進路に対してかんがえているか。	
			2、進路学年集会	2、4 4期生がチームとなって切磋琢磨していく雰囲気を確認しあう。		
			3、社会の動きを知る	3 視覚障害の大学の先生の講演を聞き、生き方について、考える		いろいろな生き方に感動し、自分の生き方を考える一助とできたか。
			4、学校別ガイダンス	4 1. 2年生が留守の学校の全教室を展開し、多くの大学、専門学校、現役の大学生の話聞き、志望先決定の一助とする。		さまざまな情報を適切にききとれているか。
	5	2	1、A0. 推薦入試講演会	1、自分が考えている進路について、理解を深める。	情報をもとにかんがえているか。	
			2、マイナビ自立支援プログラム	2、業者による生き方ガイダンスを聞く。 外部資料配付。	感想文で評価	
	6	2	1、進研模試	1 模擬試験を受験し、現在の自分の弱点を知り、課題を見つける。	自己採点、事後学習をしっかりとっているか。  1、勉強計画で評価	
			2、志望理由書を書く	2 推薦、A0 入試を考えている生徒だけでなく、一般入試の生徒も志望理由書をまとめることにより、今後の勉強のモチベーションを高める。		
			3、正社員と非正規社員	3 はたらき方について、最近の動向をしる。		
	7	2	1 進研模試	1 模擬試験を受験し、現在の自分の弱点を知り、課題を見つける。		
2 センター試験説明会			2 センター試験について詳しい話を聞き、実際にセンター試験対策やセンター利用受験について考える。			
3 指定校推薦説明会			3 指定校推薦のメリットデメリット等説明を聞き、自分の進路決定に役立てる。			

## 総合的な学習の時間

2	9	2	<p>1, 面接講演会</p> <p>2 模擬面接</p>	<p>1, 進路での面接の心構えを知る。</p> <p>2 面接練習をかさねる。</p>	<p>面接の心構えができたか。</p> <p>面接で自分を発揮できるようになったか。</p>
	10	4	<p>1, 受験計画作成</p> <p>2, 自己PR書、志望理由書の作成。</p>	<p>1 自分の課題をつかみ受験計画を立てる。</p> <p>2 自分の伝えたいことが、正確に、伝わる文章を書く。</p>	<p>実現可能で、間に合う計画表を作成できたか。</p> <p>2, 合格作文になっているか。</p>
	11	4	<p>1 大学別入試直前ガイダンス</p> <p>2 一般入試説明会</p> <p>3 エールを送る会</p>	<p>1 第一志望校に照準を定め、今後の課題を的確に把握する、</p> <p>2 推薦等で回りが進路決定していく中でもしっかり自分のやるべきことを確認し、自信を失わないようにする。</p> <p>3 4 4期生全体でこれから受験する仲間にエールをおくり、送られたエールを温かく受け取る。</p>	<p>焦らず自分の課題に正対しているか。</p>
	12	3	<p>1 センター説明会</p> <p>2 センターそっくり模試</p>		